

(様式3-2) 調査研究活動記録票(先進地視察又は現地調査に要する経費)

嬉野市議会議員

水山 洋輔

実施月日	令和5年7月4日(火)～7月5日(水)		
実施時間	① 7月4日 13:00～15:00 ② 7月5日 10:00～11:00		
調査先	① 木更津駐屯地 ② 防衛省		
調査所在	① 千葉県木更津市吾妻地先 ② 東京都新宿区市谷本村町5-1		
調査の目的	団長表敬(資料館研修)、V-22概要説明・地上研修、航空機研修(CH-47等)、意見交換会		
調査先担当者	防衛省大臣官房審議官北尾昌也様、防衛政務局運用要調査参事官菊池哲史様、整備企画局防衛計画課長伊藤晋哉様、地方協力局西日本協力課課長鍋島克之様、整備計画局整備計画課政策第1班長川端智浩様、西日本協力課部員稲富誠一様、衆議院議員今村雅弘事務所秘書田雑正信様		
内容・結果等	①木更津駐屯地 団長表敬(資料館研修)、オスプレイ概要説明・地上研修、航空機研修		
	資料館にて、陸上自衛隊第1ヘリコプター団の災害派遣のパネル説明など自衛隊の		
	活動内容について説明をうける。航空機格納庫及びエプロンにてV-22オスプレイ、他		
	陸上自衛隊に配備されている輸送航空機の説明を受ける。②防衛省 意見交換		
	佐賀空港に配備されるオスプレイについて施設の整備計画、輸送機の配備計画、		
	佐賀空港への配備理由など説明を受け大野原演習場の利活用について意見交換を行う。		
	まとめ・感想 オスプレイは、2025年を目途に17機体制で佐賀空港へ配備・運用される		
	予定であり、今後佐賀空港では、オスプレイとヘリコプター等の輸送機を加えた運用が		
	計画されてある。配備人員は約800人ほどの事。佐賀空港は、水陸機動連隊を擁する		
	長崎県の相浦駐屯地や島しょ部への対応などにおいて、迅速かつ効率的な運用に適しているために配備決定したとの事。今後、佐賀空港は、陸上自衛隊の輸送機部隊の配備により災害派遣等において重要な拠点となると考える。		
上記活動に要した経費	経費の内容	支払先	金額(円)
	旅費		60,930
	宿泊費		
	交通費		6,110
	合計		67,040

※裏面に領収書、開催通知等を貼付のうえ、実績報告書の支出明細に添付すること。

会議や研修等の資料についても整理保管すること